

氷見市男女共同参画プラン「ファインパートナーシップ2012」進捗状況

1 男女共同参画の意識づくり

(1) 男女共同参画意識の浸透

◇市民の男女共同参画意識を高めるため、男女共同参画推進員の活動を支援するなど、あらゆる機会において啓発・広報活動を実施する。
また、男女共同参画に関して興味あるテーマや内容を選択しながら学習できるよう、関係機関との連携により適切な情報を効果的に広報する。

【男女共同参画意識の普及・啓発】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
男女共同参画推進事業	氷見市男女共同参画推進員とともに、あらゆる機会において男女共同参画意識づくりを推進します。	秘書・市民情報課		<ul style="list-style-type: none"> 市内各地域での地域学習会を開催した。(4回) 福祉施設で奉仕活動を行なった。(4回) 高岡市・射水市との共催で講演会を開催した。 広報ひみに関連記事を掲載(2回) 教育文化センター、いきいき元気館で研修を開催した(3回) 	432
市における職員力・組織力の向上	市職員研修の充実や派遣研修の推進、自己啓発活動の推進等、職員の能力の向上に努める。	総務課		一般研修 811人(うち女性234人) 専門研修受講 77人(うち女性35人) 派遣研修 18人(うち女性4人) 自己啓発活動 16人(うち女性4人)	4,131
教職員の資質向上の推進	今日的課題に対応した調査・研究を通して、教職員の資質向上を図る。	学校教育課、教育総合センター		教育セミナーをはじめ、今日的な課題に対応した研修会や調査研究を実施し、教職員の指導力の向上に努めた。	1,029

【男女共同参画についての情報提供】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
男女共同参画についての講座・教室等の情報提供	(財)富山県女性財団、他市町村の女性団体が主催する、男女共同参画に関する各種講座等の情報を提供する。	秘書・市民情報課		<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する情報収集(随時) 男女共同参画推進員氷見連絡会への情報提供 	—
男女共同参画推進事業の広報	男女共同参画推進事業を広報ひみ等で定期的に紹介し、取組みへの理解を求める。	秘書・市民情報課		<ul style="list-style-type: none"> 広報ひみに関連記事を掲載(2回) 	—

(2) 人権の尊重と暴力を許さない社会づくり

◇人権教育や男女が互いの性を理解し尊重するための教育の充実を図り、相手を認め、思いやることを育みます。また、DV防止法を周知するとともに、関係機関と連携して被害者のための相談・支援体制の充実に努める。

【人権尊重とDV防止に向けた意識啓発と教育】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
人権尊重やあらゆる暴力防止に向けての広報・啓発	「人権週間」やチラシ配布等の広報、啓発活動を行う。	市民課		人権相談日を広報ひみや行政チャンネルで周知している。「人権週間」では街頭での啓発物品配布により啓発活動を行った。	308
道徳教育の充実	生命を大切にできる心や他人を思いやる心を身につけていくことができる教育の充実に努める。	学校教育課		小中学校では、教育計画に位置づけ、私たちの道徳、市道徳資料集、市販副読本等を活用し、児童生徒の道徳性の育成に努めた。また、近年重要となっているいじめ防止等についても、人権教育を基礎としながら、道徳指導を行った。	—
人権教育・福祉教育の推進	人権侵害や差別の問題を理解し人権意識の高揚を図るとともに、福祉教育を推進する。	学校教育課		小中学校では、教育計画に位置づけ、学年に応じた人権教育、福祉教育を行った。人権作文(中学校)やウエルカムベイビー事業(中学2年:健康課と連携)を通じて、相手を思いやる心を体得させる取組も実施した。	—
人権教室の実施	各世代における人権尊重の意識づくりのための教室を開催する。	市民課		市内保育園（上伊勢・明和・宇波）で人権教室を行った。友達をいじめないやさしい心の大切さを伝えた。	—
DVやあらゆる暴力の防止	DV防止法や、関係機関の講座等を広く周知し、DVについての正しい理解を促進するとともに、弱者への暴力を許さない意識づくりに努める。	秘書・市民情報課	DV防止法について、法律があることも内容も知っている人の割合20%	・広報媒体による関連情報の発信（随時） ・男女共同参画推進員水見連絡会による地域学習会でのPR（4回）【再掲】	90

【相談・支援体制の整備】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
相談体制とネットワークの強化	開催している各種相談の周知を行うとともに、市民が相談しやすい対応を心がけ、また、市の関係各課との連携による円滑な相談体制づくりに努めます。	市民課		各種相談日は毎月の広報及び文字放送にて周知。関係課とは便宜連携を取り相談体制の強化に努めている。相談件数581件（内DV相談8件）	646
		福祉介護課		ふくし相談サポートセンターを開設し、広く相談を受けるとともに、アセスメント・プランの作成を行った。支援件数 5,894件	10,700

【関係機関との連携】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
関係機関との連携による相談者への支援の充実	女性相談センターや民間団体等との連携による、専門的な相談の受け入れの周知に努める。	秘書・市民情報課		広報媒体による関連情報の発信	—

（3）政策・方針決定過程への女性の参画の促進

◇行政における審議会や委員会において、女性の積極的な登用を促進する。事業所、各種団体などに対しては、あらゆる機会において男性とともに女性の意見が取り入れられるよう啓発に取組み、あわせて意思決定の場における女性の参画についても積極的に働きかける。また、女性の能力を伸ばし育てる学習機会の拡充を図り、人材育成を促進する。

【審議会などへの女性の参画促進】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
女性の公職参加の拡大	市の審議会や委員会において、女性委員の積極的な登用を推進する。	総務課	女性の公職参加率 36%	—	—
さまざまな分野における女性の参画の拡大	女性農業委員の登用など農林水産業の分野や経済、学術分野などでの女性の登用について働きかける。	水産振興課		実績なし	—
		商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		—	—
		農林畜産課		女性農業委員 2名	—
		学校教育課		学校では、地域の女性の方々に学校評議員として、学校運営について意見をいただいた(80名中25名、31.3%)。小教研(14名中8名、57.1%)中教研(16名中10名、62.5%)の各部会の部長として女性教諭が多く活躍した。	—

【事業所・団体での女性の登用促進】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
企業における積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の普及	企業の管理職において女性の登用が進むよう積極的改善措置（ポジティブ・アクション）について周知し、取組みを促進する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		パンフレット等による商工会議所への啓発及び市役所での情報提供	—
各種団体等での女性の登用の促進	自治会、市民活動団体、各種機関などに対し、女性の能力発揮がそれぞれの組織の活性化につながる意識の醸成を図る。	秘書・市民情報課		—	—

【女性の人材育成】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
氷見市男女共同参画推進員の委嘱	氷見市男女共同参画推進員を委嘱し、男女共同参画活動の推進とともに、推進員の研修を通しての研鑽を進める。	秘書・市民情報課	男性委員の割合 45%	男女共同参画推進員氷見連絡会の男性の割合 50%	—
婦人消防隊や婦人防火クラブの育成	火災予防などでの女性ならではの力を発揮できるよう婦人消防隊や婦人防火クラブを育成する。	消防本部		・女性消防団員 ・婦人防火クラブ 3地区	—
各種団体における女性の人材育成の促進	あらゆる分野において、女性が男性とともに能力向上に向けた機会が与えられるよう、各種団体に呼びかける。	総務課		—	—

2 家庭・地域において男女が参画する環境づくり

（1）家庭における男女共同参画の促進

◇家庭において、男女がともに責任を持って家事・育児・介護などに携わる意識の啓発に努めるとともに、男性の理解を深めるためのさまざまな体験や学習機会の充実を図る。また、子どもたちが成長していく過程で、家庭生活や日常生活から自然に男女共同参画を学ぶことができる社会体験等の拡充に努める。

【男女がともに担う家庭生活についての学習の推進】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
「親学び」の研修会や講演会の拡充	親となる準備期から子どもの成長に合わせたプログラムの学習により、親としての家庭での教育力の向上に努める。	教育総務課	親学びの研修会・講演会等の参加者数 1,200人	親学びに関する講演会を開催するとともに、市PTA連合会や地域子育てセンターと協力して、全小中学校と保育園等15園で「親を学び伝える学習プログラム」を実践した。参加者数930人。その他家庭教育講演会を開催した。	334
パパママ体験教室の実施	出産を控えた夫婦が子育てを体験することにより、男女でともに家庭を築く意識を醸成する。	健康課		・パパママ体験教室 年4回実施参加者数 59人 ・初妊娠夫婦の参加率11.2%	39
じいじとばあばのハッピー孫育て講座の開催	祖父母を対象に、親とともに子どもを育て見守る意識の醸成を図る。	健康課		じいじとばあばのハッピー孫育て講座 年1回 参加者数19人	32
近住・三世代同居等を見直す機会の促進	女性にとって、子育てや介護の悩み・不安を相談でき、負担を軽減できる近住・三世代同居等を含め、家族形態を見直す機会づくりを促進する。	地方創生と自治への未来対話推進課		—	—

【男性にとつての男女共同参画の学習機会の充実】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
父親が主体的に育児に関わる意識の醸成	父子手帳の交付やパパママ体験教室など、父親も子育てを体験する学習機会を通して、母親とともに子育てを担う意識づくりに努めます。	健康課		・母子健康手帳・父子手帳交付実数 260件 ・パパママ体験教室 年4回実施 参加者数59人	88
男性料理教室等の実施	氷見市男女共同参画推進員が地域で開催する男性の料理教室等、男性の自立した家庭生活を促進する。	秘書・市民情報課		男性の料理教室を市内3か所で開催した。	90
男性の活躍事例の紹介	家事や育児に積極的に参加している男性の事例を紹介し、自主的な参加につながる環境づくりを推進する。	秘書・市民情報課		広報ひみに関連記事を掲載（2回）	—

【子どもの頃からの男女共同参画の推進】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
社会に学ぶキャリア教育の推進	職業体験を通して、男女が性別にこだわらず主体的に進路を選択する学習を推進する。	教育総合センター		中学2年生が7月又は9～10月の1週間学校外で職場体験活動や福祉ボランティア活動等に参加する社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業を実施した。（参加生徒数405人）	1,560
ウエルカムベイビー事業	中学生が実際に赤ちゃんとふれ合うことや保護者から成長を見守る喜びを聞くことで、命の大切さ、子どもを生き育てることに責任を学ぶ教室を開催する。	子育て支援課		延べ50組の親子の協力により、市内全中学校2年生409人を対象に実施した。うち、西條と北部は2回実施 実施回数8回	190
栄養教諭や栄養職員による食育授業の実施	食に関する知識や正しい食習慣などを身につけることで、男女ともに将来まで健康な生活の基盤づくりを推進する。	子育て支援課		保育所給食の保護者試食会及び保護者と園児の調理体験をそれぞれ年1回実施した。のべ回数12回	57
		学校教育課	保育所・学校等での食育事業の実施回数 計110回	家庭科や総合的な学習の時間などに食育の授業等を実施した。小学校63回、中学校65回。	—
		商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		保育園・幼稚園の年長児を対象に料理づくり体験を15回（きときとキッズお料理道場）。小学生を対象に「氷見の食材を用いた料理教室」4回。中学生を対象に「伝承料理教室」1回。「魚のさばき方教室」2回。	1,802

(2) 地域づくりにおける男女共同参画の推進

◇自主的・主体的に取り組みられる地域活動が、男女が協力して円滑かつ継続的に行われるよう、住民の積極的な参画を促進する。また、活動に必要な知識や技術の習得のための学習講座や研修会などの情報を提供し、地域におけるリーダーの育成、ボランティアなどの人材の発掘に努める。

【地域・ボランティア活動における男女共同参画の推進】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
各種ボランティア活動の支援	ボランティア総合センターの活動を支援し、コーディネート機能等の充実を図ります。また、福祉ボランティア、観光ボランティア、健康づくりボランティア、学校支援ボランティア等さまざまな活動において、男女問わず能力を発揮できるための人材の育成を支援する。	地方創生と自治への未来対話推進課	健康づくりボランティア登録者数 1,060人	・氷見市ボランティアセンター活動事業への補助 ・健康づくりボランティア登録者数10121人（のべ）	7,220
地域や親子のふれあいを促進する活動の実施	学校やPTA、地域が連携し、社会全体で子どもや家庭を支える体制づくりを推進する。	学校教育課		PTA、育友会との協議や学校評議員制度の活用等、いっそうの連携を深めた。	—
防災の観点からの研修会の開催	研修会の開催や、自主組織による地域住民への研修会を開催し、防災及び災害発生時の救援活動に男女が無理なく活動できる意識づくりを推進する。	地域防災室		加納地区において、避難所運営訓練が実施され、女性のプライバシーを守ることのできる個室をダンボールで作るワークショップを行った。	—
地域づくり協議会の設立と活動の支援	地域に住むすべての男女が、地域の課題に主体的に取り組む地域づくり協議会の設立を支援する。	地方創生と自治への未来対話推進課	地域づくり協議会の設立数 21団体	地域づくり協議会を設52団体、地域づくり協議会設立準備会を設立2団体	200

3 男女がともに働きやすい就労環境づくり

(1) 働く場における男女の平等の確保

◇事業所等に対して男女の雇用機会や待遇についての法制度について周知するとともに、性別に関係なく能力や実績に応じて評価される職場環境づくりを促進する。また、男女がともに働きやすい環境を整備するため、安全で適正な職場環境づくりの意識啓発に努める。

【職場における男女平等の確保】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
男女雇用機会均等法など関係法令の周知	男女雇用機会均等法、パートタイム労働法などの周知により、雇用条件における男女の格差是正を促進する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課	男女の地位の平等感 職場で 30.0%	ハローワーク・商工会議所と連携し、雇用機会の是正を企業に促した。	—
男女共同参画推進認定事業所の紹介	県が行う「男女共同参画推進認定事業所」に認定された事業所を紹介し、男女共同参画の職場環境づくりを進める意識を醸成する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		ホームページにおいて事業所を紹介し、啓発に努めた。	—

【男女がともに働きやすい職場環境の整備】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
職場の安全と適正な環境づくりに向けた普及啓発	女性が働きやすい職場は、男性にとっても働きやすい環境であることから、安全で適正な職場環境づくりを啓発する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
パワーハラスメント等の防止啓発	職場におけるパワーハラスメント、セクシャルハラスメントの防止啓発を促進する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
関係機関との連携	関係法令や制度の正しい理解と実施に向けて、国・県の関係機関と連携しながら男女共同参画を推進する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—

（2）女性の能力発揮のための支援

＜関係機関と連携しながら、事業所における女性の再雇用制度の普及に努めます。また、女性が経営や起業に取り組むための研修等の情報を提供するとともに、就業に必要な資格を取得するための訓練等の充実を図る。農林水産業においては、家族経営協定の普及などにより女性が意欲を持って取り組める環境づくりを進め、あわせて各分野での人材の育成に努める。

【女性の再就職等への支援】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
復職・再雇用制度の普及	結婚や出産などでいったん退職した女性が、再度就業できる制度の普及を図る。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
職業訓練・職業教育の充実	女性が就業するために、新たな資格や技術の取得に向けた訓練や教育の充実を図る。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
多様で柔軟な働き方の周知	それぞれの事情に応じた柔軟な働き方ができるよう事業所に啓発するとともに、労働者に適切な情報を提供する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—

【女性のチャレンジ支援への情報提供】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
就業・再就職・起業への支援	ハローワークをはじめ、県の機関等と連携し、女性が働くことについての幅広い情報提供を行う。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
コミュニティビジネスの促進	女性が主に関われる地域の特産物の開発などのコミュニティビジネスを支援する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課	コミュニティビジネスの立ち上げ数2事業	市・商工会議所・金融機関と連携して取り組む創業支援事業計画の国の認定を受け支援を促進した。	—

食に関する取組み、一村一品運動の推進	食育・地産地消や一村一品への取組みを推進する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		—	—
		農林畜産課		こんにゃくの作付面積拡大とその加工販売。研修会、イベント参加、PR活動等。	100

【農林水産業・商工業における働きやすい環境づくりの促進】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
家族経営協定の普及	従事者が経営の方針決定や労働時間、報酬などに関して取り決める家族経営協定締結の普及啓発に努める。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		—	—
		農林畜産課		—	—
女性リーダーの育成	女性指導農業者・女性認定農業者の育成と周知、農林水産業・商工業における経営研修等への参加の促進、団体における女性役員の参画を促進する。	農林畜産課		—	—
		商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		女性経営者・女性役員が商工会議所で研修を行った。	—
女性が活動しやすい環境づくりの促進	夫婦での認定農業者制度、農業者年金への加入促進など、意欲を持って活動できる体制に配慮した情報を提供する。	農林畜産課		氷見市農業協同組合広報誌「JAひみし」での周知及び農業経営改善計画認定審査会の開催	—

(3) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◇事業所での育児・介護休業制度の導入を促進するとともに、労働者に対しても制度の周知を図り、子育てと仕事の両立を支える職場環境づくりへの取組みを支援する。また、労働時間の短縮や男性の育児休暇取得などを通して仕事中心となっている生活を見直すなど、ワーク・ライフ・バランスの啓発に取り組む。

【両立支援のための制度の啓発】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
一般事業主行動計画策定の促進	育児や介護をしながら働く従業員に対し、仕事と家庭生活の両立を支援するため、一般事業主行動計画の策定を企業に周知、促進する。	子育て支援課		市ホームページから厚生労働省の紹介ページを見れるようにリンクを貼ることで、周知に努めた。	—
育児・介護休業制度の周知と導入の促進	企業に対し制度の充実を促進するとともに、従業員に周知することで制度の正しい理解と利用促進を図る。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
国・県が公表する両立支援企業の紹介	国が紹介する「両立支援のひろば」や県の「子育て支援企業エントリー制度」、被表彰企業の情報を提供し、両立支援の取組みを紹介する。	子育て支援課		市ホームページから厚生労働省の紹介ページを見れるようにリンクを貼ることで、周知に努めた。	—
氷見市子育て支援優良企業表彰の実施	働きながら子育てできる職場環境づくりに取り組む市内の企業を表彰し、市広報等で紹介することで、他事業所の意識を醸成する。	子育て支援課	毎年度 2社	選考委員会を開催し、ヘアースタジオドッドゥの1社に「氷見あったか子育て応援賞」を授与し、市ホームページに掲載した。	34
事業所内保育の導入促進	子どもを預けながら安心して働ける事業所内保育の整備導入に向けて、企業に啓発する。	子育て支援課		市社会福祉協議会が運営主体となり、地域のさまざまな状況に合わせた保育の場を確保するため、平成27年10月から地域型事業による事業所内保育事業を実施した。	4,661

【働き方の見直し等の啓発】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
労働時間短縮などの啓発	企業に対し労働時間短縮や有給休暇取得に向けた啓発を行うとともに、ノー残業デーの導入を促進する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
育児休暇等の理解の促進	男性が子どもとふれあう時間や地域に参加する時間を取得するなど、働き方を見直すための育児休暇や育児休業、ボランティア休暇等の制度の周知について、企業の理解を求める。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
メンタルヘルス対策の充実	仕事における悩みや仕事に偏りがちな生活を見直し、心身ともに健康で働ける体制を充実する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課		—	—

4 健康で支え合う暮らしづくり

(1) 子育て支援・高齢社会への対応

◇子育てやお年寄りの介護による家庭の負担を軽減するため、多様で弾力的なサービスを提供するとともに、地域力を生かした支え合いの拡充に努める。また、福祉に関する総合的な相談体制を推進する。

【地域ぐるみで展開する福祉サービス】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
地域で支え合う生活支援と見守りの推進	地域で支え合う体制づくりを進めるとともに、見守りネットワークの構築、買い物・外出支援サービスの推進、生活・介護支援サポーターの養成に努める。	福祉介護課		21地区の地区社協で実施している、高齢者等の見守り活動に対して、補助金を交付した。 8,800千円 また、朝日丘・久目・仏生寺・女良・東・宮田・稲積・速川・宇波地区の地区社協に対して、買い物・外出支援サービス等の推進を委託した。地区委託費 4,100千円	12,900
福祉の総合相談・支援体制の強化	福祉に関する切れ目のない支援体制づくりを推進する。	福祉介護課		ふくし相談サポートセンターを開設し、広く相談を受けるとともに、アセスメント・プランの作成を行った。 支援件数 5,894件 【再掲】	10,700
福祉研修センター（仮称）による担い手づくり	福祉・介護サービスを担う人材の資質向上のための研修の開催や、人材の確保、連携強化に努める。	福祉介護課		社会福祉協議会が実施している福祉研修センター事業に対して、補助金を交付した。	500

【子育て支援の充実】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
多様なニーズに応じた保育サービスの充実	延長保育を推進するとともに、一時保育、休日保育、低年齢児保育、障害児保育の充実を図り、また、病後児保育や年度途中入所など、多様化するニーズに対応する。	子育て支援課		延長保育 12園 一時預かり 15か所 障害児保育 14園 病児・病後児保育1園	86,717
学童保育の充実	子どもの放課後の安全を確保するため、放課後児童クラブ（学童保育）の活動拠点を整備するとともに、指導員の確保、資質の向上に努める。	子育て支援課		実施か所 19クラブ（16か所） 備品整備 3クラブ（3か所） 登録児童数 668人	99,766
子どもの活動の場の充実	放課後子ども教室、児童館の活動を充実するとともに、子どもセンターの新設を検討し、子どもの安全な活動場所を提供する。	子育て支援課		市内2か所（氷見市児童館（委託）、速川児童館（補助））で開設。放課後子ども教室は生涯学習・スポーツ課が担当。	12,931
		教育総務課		「放課後子ども教室」9校区、15教室 登録人数379人 加えて土曜教室を実施した。 7教室 登録117名	3,954
地域子育てでセンターの拡充と活動の推進	子育てに関する情報を提供し、利用者が気軽に相談できる窓口としての地域子育てセンターの拡充を図る。	子育て支援課		市営の市子育てセンターを中核に、保育所併設の子育てサロン等7か所で実施。	58,100

【高齢者支援体制と介護サービス等の充実】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
サービス基盤の整備	介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるサービス基盤の整備に努める。	福祉介護課		定期巡回・随時対応型訪問介護看護 あいの手ケアセンター（福）ひみ福祉会 ※平成28年7月1日開所	10,300
地域包括ケアの推進	介護、予防、医療、地域生活支援、住まいの5つのサービスを一体的に提供できる地域包括ケアを推進する。	福祉介護課		保険・福祉・医療関係者のつどい1回 参加者158人	148
高齢者の就業機会等の拡充	シルバー人材センター運営事業の充実など就業機会を拡充するとともに、雇用年齢の引き上げ等について事業所に啓発する。	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課	高齢者の就業率20%	国・県のパンフレット等を配布し啓発した。	—
		福祉介護課	シルバー人材センター登録者数460人	シルバー人材センターの運営に対して、補助金を交付した。 27年度登録者数355人	7,280

【地域力の活用】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
とやまっ子さんさん広場の実施	地域の子どもを見守るとやまっ子さんさん広場を実施する。	子育て支援課		実施か所 2か所 登録児童数 36人	2,000
水見型子育てファミリー事業の推進	保護者が一時的に保育できなくなる場合でも、安心して子どもを見守る水見型子育てファミリー事業を実施する。	子育て支援課		ファミリーサポートセンター（地域において、育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、助け合う組織）の運営を社会福祉法人水見市社会福祉協議会に委託した。	4,439
地区子育てサークルの育成・支援	子どもを持つ保護者が気軽に参加でき、子育ての悩みや情報を地域の人と共有できるサークルを育成し、活動を支援する。	子育て支援課		市内14か所で地区子育てサークルの活動支援 を行った。	—
		子育て支援課		（再掲） 地区子育てサークル幼児食らくらくメニュー講座（15回）240人	—
地域の子育て支援関係者のネットワーク化の促進	子育て支援に関わる人が、互いの情報や知識を共有できるネットワークづくりを促進する。	子育て支援課		子育て支援施設や地区子育てサークル、行政からの委員で構成する「ひみ子育てネットワーク会議」を年4回開催。子育て支援の現場での事例検討や情報交換等を行った。	—
子育てスタッフの育成・発掘の推進	子育てをする家庭に対し、さまざまな支援をする子育てスタッフの育成・発掘に努める。	子育て支援課		社会福祉協議会に委託し、子育て支援スタッフの発掘・育成のための研修会等を実施。参加のべ人数305人	870
児童クラブ等の地域指導者の発掘・育成	さまざまな分野における子どもの可能性を見いだせるよう、児童クラブ等の地域の指導者を発掘し育成する。	子育て支援課		指導者研修会への派遣等、指導者の育成に取り組んでいる水見市児童クラブ連盟の活動に対し助成を行った。	425

(2) 誰もが安心して暮らせる環境の整備

◇障害のある人、ひとり親家庭、その他困難な状況にある人など、誰もが安心して暮らすため、自立に向けた支援を展開する。さらに、複合的な問題を抱えている人に対し、適切な支援を行える体制づくりに取り組む。

【障害者への支援】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容 (実績)	H27年度実績額 (千円)
障害者福祉サービス等の充実	在宅サービスをはじめとする障害福祉サービスの充実を図るとともに、多様な障害への対応や、家族介護者等の支援に努める。	福祉介護課		本人・家族の意向をふまえて作成されたサービス利用計画等に基づき障害福祉サービスの適切な支給に努めた。また、障害の程度に応じた補装具(補装具費)を給付し、日常生活の向上に努めた。	700,296
障害者相談支援体制の充実	障害者の権利擁護に努め、地域での自立を支援する。	福祉介護課		障害者虐待法が平成24年10月1日に施行されたことに伴い、障害者虐待防止センターを福祉課内に設置し、通報等の受理体制を整備した。また、市長申立による成年後見に要する費用を予算化するとともに、本制度の周知等に努めた。	10
バリアフリー化等の普及・推進	障害者・高齢者だけでなく、誰もが使いやすいよう、公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、ユニバーサルデザインを普及する。	福祉介護課		—	—
障害者の就労支援の充実・強化	障害者の就労に対し、制度等の広報、相談支援を実施するとともに、雇用の場の拡大に努める。	福祉介護課		障害者就労支援ネットワーク活動事業を実施することで、障害者の就労活動等の支援を行った。	—
障害者の社会参加の促進	障害への正しい理解を啓発するとともに、地域活動支援センターへの支援やレクリエーション・スポーツ教室等の開催、ボランティアの養成等を実施する。	福祉介護課		NPO法人等が運営する地域活動支援センターに補助等を行うとともに、障害者団体・ボランティア団体等に委託してスポーツ大会や手話奉仕員の養成等を行った。	15,315

【外国人への支援】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容 (実績)	H27年度実績額 (千円)
多言語表記の充実	生活に必要な情報ガイドブックや防災情報の多言語表記を実施する。	総務課		—	—
外国語学習機会の充実	在住外国人に日常会話を教える日本語教室や、外国語を学ぶ教室を開催する。	総務課		住民ボランティアや日本語指導の専門講師と連携して日本語教室を開催した。(32回)	—

【社会的な援助を必要とする人への支援】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容 (実績)	H27年度実績額 (千円)
ひとり親家庭の経済的負担等の軽減	医療費の助成や母への就労支援給付金を支給する。	子育て支援課		医療費助成 7,195人、22,356千円 就労支援給付金 2人 2,400千円	24,756
児童・高齢者に対する虐待の防止	虐待により保護が必要な児童や高齢者に対し、虐待防止委員会や成年後見制度などの周知とともに、安定した気持ちで生活できるよう適切な支援を行う。	福祉介護課	家庭児童相談室における子育てや子どもへの関わり方への相談対応件数210件	民生委員・警察などの関係機関と連携を図り、高齢者虐待の早期発見・対応を実施。H25年度より高齢者虐待の講習会を市内の施設で実施している。 相談件数 17件	35

(3) 生涯を通じた男女の健康支援

◇すべての子どもの健やかな成長のため、母子保健についての正しい知識の普及に努めるとともに、男女が「こころ」と「からだ」について正しく理解しながら性別や年代、環境に応じた健康支援を受けることができる体制の充実を図る。

【母性の保護と母子保健に関わる支援】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
母性保護意識等の啓発促進	母性保護のため、妊娠や出産、子育てに関する正しい知識を理解してもらおうと同時に、事業所にも普及啓発を行う。	健康課		母子健康手帳交付時、パンフレットを配布	—
すこやかに生み育てるための環境づくり	妊娠前から出産、子どもの成長まで、すこやかに過ごせる環境を整える。（妊産婦健康診査、乳幼児健康診査、子育て相談事業、子どもの健康づくり事業）	健康課		<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦一般健康診査(14回)2760件 ・産婦一般健康診査 52件 ・3～4か月児健康診査(12回) 248人 ・乳児一般健康診査 395人 ・1歳6か月児健康診査(12回) 268人 ・3歳児健康診査(12回) 297人 ・乳幼児クリニック(6回) 延46人 ・子育て相談(12回) 延247人 ・すくすく相談(4回) 15人 ・遊びの教室(5回)36人 	25,858
不妊治療への支援	不妊治療費の助成や相談窓口の情報提供を行い、不妊に悩む夫婦の支援を行う。	健康課		不妊治療助成数 のべ86件	10,558
性に関する教育の推進	男女の性差を理解し、自分やお互いを大切にすることを育む。	健康課		—	—

【男女のライフステージに応じた健康支援】

事業名	内容	関係課	数値目標	H27年度 具体的な実施内容（実績）	H27年度実績額（千円）
健康診査と保健指導の充実	自分の健康状態を確認し、健康に暮らすため、各種健康診査の受診を勧めるとともに、事後の生活習慣病予防の保健指導を充実する。	健康課		特定健診受診率 45.3%(確定値) 40歳以上の被生活保護受給者健診受診率 8.9%(H20年度より健康増進法による健診で医療保険者に義務づけられない者を対象とする) 胃がん 19.1% 子宮29.3% 肺40.1% 大腸29.9% 乳 34.7%	108,480
生涯を通じた健康づくりの意識の啓発と実践	乳幼児期から良い生活習慣を身につけるため、健康教室等健康づくり事業を推進する。	健康課		・子育て広場（年14回）216人 ・三世代ヘルシークッキング（8回）224人 ・幼児食らくらくメニュー講座（15回）240人 ・その他子どもの健康づくり教室（13回）594人	523
感染症発生・蔓延予防の推進	疾病の発生や蔓延を防ぐため、新型インフルエンザ等感染症の正しい知識の普及とともに予防接種を行う。	健康課		麻しん風しんの予防接種について、保育園等を通じて接種勧奨を行った。 またDT2期の予防接種について、小学6年生になる年齢の未接種者に対し、個別に接種勧奨を行った。 国が特に接種率向上を目指している麻しん風しん予防接種の接種率は、氷見市1期98.4%、2期96.1%、富山県1期97.5%、2期94.6%、全国1期96.2%、2期92.9%	79,682
心の健康づくりの推進	ストレスの対処法や精神疾患の正しい知識を啓発するとともに、相談支援体制の充実を図る。	健康課	不満や悩みの相談相手を持つ人の割合 40～70歳代 95.0%	・こころの健康教室 7回 ゲートキーパー養成研修 1回 ・こころの健康相談会 8回 ・精神保健相談106件 ・自殺予防キャンペーン 2回	183